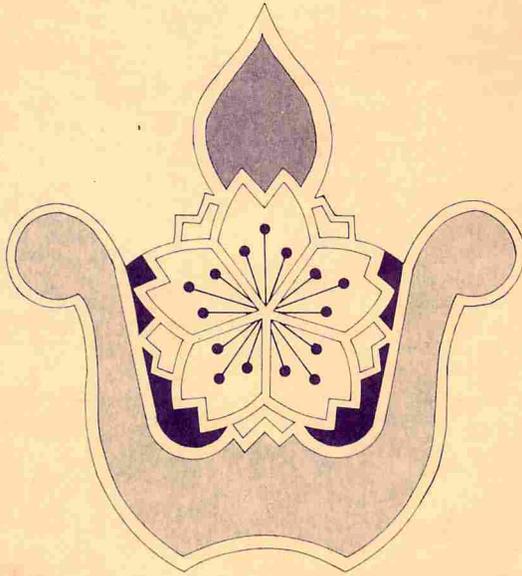


創刊号

# 朋友



佼成看護専門学校同窓会



# 「朋友」創刊にあたり

同窓会々長

浜田みどり

秋空いよいよ澄みわたり、行楽に、運動会にと、楽しい笑いが聞こえてきそうな時節となりました。

会員の皆様、如何がお過ごしでしょうか。

比の度、事務局から、困惑の便りをお聞きいたしました、つい同窓会に長の大役を、引き受けてしまいました。

けれども、5年の任期を考えますと、私のような弱者者に、努まりますかどうか、不安でいっぱいでございます。

しかし、私は、私一人しか無く、背のびをしても仕方が無く、「このまま遂行していくより方法はない」と考え、半分開き直りの精神で、やってみようと思っております。そして微少なながらも、流動のある活動を考えております。

今後共、会員皆様の御支援を、よろしくお願い申し上げます。

さて、佼成看護専門学校は、ます

ます発展の途をたどっておりますが、同窓会も、創設10年目に入り、会員数559名を擁するまでになりました。

そこで、多くの会員諸姉の、親交と御活躍を、お知らせすべく、遅らばせながら、「朋友」を創刊することとなりました。

「去る者日に疎し」とか、段々忘れゆく中であって、近況を伝えあえる冊子を作り、お互いの心を暖めあうと共に、全国各地あるいは海外からの便りにより、楽しい紙上の旅をしていきたいと思います。

遅れましたが、このたびの会誌創刊に際しまして、大変御多忙中とは存じますが、諸先生方に、無理な原稿をお願い致しまして、申し訳ありませんでした。

本当にありがとうございます。失礼ではございますが、誌上でお礼を申し上げます。



# 創刊によせて

学校長

小林一夫

今回同窓会結成のはこびになり、おめでとう御座居ます。

小生、東海大学医学部に教授として在任してりましたが、大学より佼成看護専門学校を見たり聞いたりして居りますと、佼成看護専門学校出身者は極めて評判がよく、小生も大学に居て心あたたまる思いが致して居りました。

看護の精神は、今の世の中でもっとものもぞまれている精神と想います。佼成看護専門学校出身者は、看護の仕事をつづけて居られる人は勿論ですが、家庭人となられた人も周囲の人々を幸福にして下さっているものと思えます。

同窓会発足は皆様卒業後の連絡、親睦、後輩の指導、さらにおしゃべりの場として最もよい場と思ひ御同慶にたえません。さらに後輩に世間話や卒業後の生活などをお聞かせ下さる同窓会に発展する様お願い申し上げます。

氏名 小林一夫

生年月日 大正11年9月27日生(59歳)

学歴

昭和22年9月 東京慈恵会医科大学学部卒業

昭和22年10月 インターン(東京慈恵会医科大学附属東京病院)

昭和23年12月 国家試験

昭和29年 医学博士

経歴

昭和23年12月 東京慈恵会医科大学(産婦人科)入局

昭和24年1月 同大学副手

昭和28年6月 同大学助手

昭和30年11月 同大学講師

昭和32年9月 佼成病院産婦人科部長兼務

昭和45年1月 東京慈恵会医科大学助教授

昭和49年4月 佼成病院産婦人科部長兼務

昭和55年4月 東海大学大学院医学研究科

昭和56年9月 佼成病院院長佼成看護専門学校長兼務

昭和49年4月 東海大学教授

昭和55年4月 東海大学大学院医学研究科

昭和56年9月 佼成病院院長佼成看護専門学校長兼務

昭和49年4月 東海大学教授

昭和55年4月 東海大学大学院医学研究科

昭和56年9月 佼成病院院長佼成看護専門学校長兼務



# 朋友創刊

前校長 小野田敏郎

昭和43年12月、倭成高等看護学院は創設されました。本科第1期24名が、木造2階の校舎に入學してこられたのは昭和44年4月のことでありました。昭和46年4月に新校舎が完成し、翌年3月にはじめての卒業生を送り出しました。卒業生はただちに倭成同窓会をつくりました。

昭和55年4月、学院は倭成看護専門学校と校名を改めました。そしてことし、昭和56年3月に1科、2科の卒業生77名を校門より送り、卒業生の総数559名に達しました。すなわち倭成同窓会はこのような大きな力となったのであります。

4月新入生を迎えて入学式を行いますときに、式中同窓会代表

は花束とともにりっぱな励ましの言葉をくださいます。学成って卒業にあたっては心のこもる式辞と記念品とを頂戴するのであります。

その私はこの8月、13年間の学成って学校を卒業することとなりました。同窓会は7月4日、創立10周年の総会を新宿のホテル・サニールートの大広間において盛大に開かれ、この折に私は大勢の同窓の皆さまからその卒業を祝福されました。有難いことであります。

このたび同窓会は会誌を発刊されることになりました。その名を「朋友」とされた由であります。私はさきに学寮寮生より乞われればならない破目になりました。かねて「豊かに清らな」人柄を育

てようなどと申していましたが、塾訓としての冒頭を「佳き朋をもち良き友たり」ということばで始めました。お釈迦さまは善友と申されております。志すひとつの道のまえには師も弟子もない、お互い道に進む友であると言われるの

であります。

会誌「朋友」のなかに、共に倭成看護学校に学んだこのよしみを同じ道に進むよろこびを頌ちあつていつまでもその心を通じ合つて進んでください。

発刊おめでとうございました。

「佳き朋をもち、良き友たり」

佳明良友

同窓会十歳  
辛酉外旬月

小野田敏郎



# 第一回同窓会および 小野田学校長の送別会

去る七月四日(土)新宿、ホテルサンルート東京の「扶養の間」に於て、第一回校成看護専門学校同窓会が開催された。

今回は第一回目であり、停年退職される小野田学校長先生の送別会も兼ており、卒業生九十七名、来賓十名を迎えて盛大に催された。

午後六時から第一部として、浜田みどり新同窓会会長より就任のあいさつ、会規約の一部改正について説明がなされた。又、同時に同窓会委員の紹介を行った。

六時二十五分、松田理子教務部長の乾杯の音頭で、第二部の送別会が、小柳昌代(八期生)さんの司会によってはじめられた。会は立食形式で、各自が、豪華なフランス料理に舌鼓をうちつつ、学院の思い出を綴ったスライドを観たり、各期代表、来賓、学校長先生のスピーチに耳を傾けた。

学校長先生には、同窓会から、記念品の目録(アルバム、一期生から十二期生の記念歌挿入のテープ)が贈られた。最後は、全員で「楽しい集い」を合唱して午後八時に終了した。

なお、小野田先生には、退職後は、同窓会の特別名誉会員として、御助言を賜る事になっている。



# 同窓会司会を終えて……。

一科八期卒業

小柳昌代

第一回目の同窓会も無事に終了しました。

校成看護学校を卒業し、看護婦として全国各地へ帰った諸先輩方、同僚、そして後輩。皆、それぞれの想いを胸に同窓会に出席して下さいました。とても嬉しいことだと思います。

私にとっては初めて出席した同窓会……。会場では、初めて出逢う大先輩を前にしてちよつぱり緊張もしましたが、やはり同窓生であることに親近感を覚え、それが互いの距離をも短かくしてくれたように思えます。

この同窓会で司会の御役を頂いて、初めはどのような会になるのか見当もつきませんでした。しかし、司会に不足な点が多々あるにもかかわらず、皆さまの思いやりある協力のおかげ様で、賑やか

でとても和やかな会になったと思います。皆様、御協力ありがとうございました。私としてもこの御役を通して、よい経験をさせて頂いたし、又、よい思い出になったと喜んでいきます。

初めて同窓会の話を聞いた時は、出席を拒否したものの、大先輩にもあたる神田教師の熱心な勧めに負け出席したような感じも……。しかし同窓会にできることにより普段めつたに逢えない同窓生にも再会でき、いろんな話しにも花が咲きました。その中でも学院長先生(本来ならば校長先生とお呼びするのが正しいのですが、私達にとっては学院長先生と呼ぶ方が親しみをもって呼べるように思います。)が、この九月をもって退職されるということで、私達の父親がわりとして居て下さっただけに寂しさを覚え、学生時代の思い出とともに学院長先生の和やかな笑顔思い出さずにはいられませんでした。

学院長先生、今後もお体につけ和やかな笑顔を保って下さい。そして一九八五年に開催される同窓会に、是非とも元気なお顔で出席して頂きたいと思えます。

第一回目の同窓会：確かに一時の思い出しかありませんが、この思い出に含まれた豊かな思いの花を胸に：またこの次、集う日まで皆様も元気に、また朗らかに過ごして下さい。



I科1期生  
向井百合子  
(田 杉野)

私は47年に卒業し、現在事業所保健婦として働  
らっています。活動範囲は家族の乳幼児指導から、  
高血圧症、糖尿病に至るまで幅が広いのですが、  
ただ一人しかない保健婦としては活動が制限さ  
れ、文書指導になることもあります。主な活動は  
社宅の巡回健康相談・成人病の家庭訪問です。私  
の今の課題は、働らいている人の慢性疾患の療養  
指導をすることの難かしさに直面していることで  
す。いったん病気になれば、長い療養生活を要し  
ますから、何とか病気の一步手前で予防できな  
いものかと、その方面にも力を入れています。  
それと私が一つ残念に思っているのは、せつか  
く入院して集中ケアを受けても、再入院をする  
人が多くいることです。入院中療養指導を受け、  
コントロールできていても、実社会に適応できな  
い人も多くいることを考えたら、病院からは非地  
区の保健婦に連絡をとり、チームプレーができな  
いものかと考えています。



II科2期生  
種田桂子  
(田 高橋)

同窓会誌発刊おめでとうございます。  
桜成高等看護学院に学ばせて頂いたお陰様で患  
者中心看護、そしてまず人様の為にと云う人間の  
本質を学ばせて頂き、私の人生観が一変致しま  
した。卒業後八年になり、現在は家庭にて、二歳に  
なる女兒に恵まれ、親子三人幸せな日々を送らせ  
て頂いて居ります。東京の箱根の様な閑静な地で、  
春はうぐいすの声で目を覚まし、いちご畑で新鮮  
ないちご摘みをする様な空気の美味な自然に恵ま  
れた地です。立正佼成会の御法一族の温い環境に  
囲まれて法精進に励ませて頂いて居りますが、学  
ばせて頂いた看護の技術もお役に立てて頂きたく、  
地域住民の健康管理の一端にでもと豊田教会  
で毎月定期的に血圧測定をさせて頂き、又諸行事  
時には、救護のお役をさせて頂いて居ります。自  
分の持てる能力を最大限に發揮でき、社会の發展  
に微力乍らも貢献できましたら幸せと願っている  
次第です。

同窓会の發展を心より念じております。



II科4期生  
磯和子  
(田 藤田)

青春を東京で過ごし、沢山の思い出を後に、今  
は人並に結婚して東北は仙台に住みついた私です。  
仙台市の南に位置する、大変田舎で素朴な感じ  
の所です。  
看護職を離れて主婦業へ転職。初めは三食昼寝  
付き、退屈な毎日でした。でも今年の五月に女兒  
を出産し退屈さが半減し、育児に専念しておりま  
す。娘の名は「夕香」です。  
学生の頃から書く事が苦手な私、よってなるべく  
簡単な字をノと思ひ、「優香」余りにむづかしく、  
又、名前負けしては?と思ひ、夕顔の様に静かに  
やさしいイメージを望み、「夕香」としたのです。  
学生時代の友達は、女優か?キャバレーか?等と、  
勝手な祝いを言ってくれたのですが、私の一番気  
に入った名前、元気でやさしい子に育ってくれれ  
ば、と願っている今日です。  
この素朴な仙台で、これから育児の長旅をしつ  
かり歩くのみです。今日もオムツの洗濯、明日も  
オムツの洗濯です。



I科5期生

関 孝子

(旧 日暮)

稲作と椎茸のハウス栽培をする専業農家に嫁ぎ、家事をするかたわら、椎茸を採り、それを袋に入れて、出荷する、そんな毎日が続いています。今までの生活と一番変わったことは天候を気にするようになったことでしょうか。晴れた、雨だと一喜一憂し、収穫期の台風は何とか横にそれてほしいと願う、宮沢賢治さんからの気持ちです。

家の庭で、にわとりを放し飼いにしています。にわとりは卵を産み、ひなを育てます。ひよこが成長していくさまは、生への躍動を感じます。夜、キリギリスが廊下で鳴いています。昼間、ちよちよが家の中でとんでいても、庭の続きなんだなくらいにしか思わなくなりました。

時々看護婦として働いていたころの自分を思い出します。どこで生活しても、人との結びつきは大切だし、人を思いやるのが看護の道に通ずるのだと思っています。



II科8期

朝妻 晴美

学院を卒業して、早くも二年をすぎました。私自身最近本当に進学コースに行き、卒業してよかったと思います。三年間の働きながらの苦しさは今となっては楽しい思い出です。患者さんと接する中で、手術前後の看護をする中で、以前とちがって自信のあることに驚き一枚の卒業証書の重みを感じている今日この頃です。最近ILO条約の看護制度問題にふれる機会があり、勉強する中で目の前がパッと明るくなった感じです。中でも、「キャリア」「参加」の問題は、これから看護婦を志す後輩のためにも、私達看護婦の地位向上のためにも、ILO批准に向って勉強し、輪を広げていきたいと思っています。

最後に各職場には、各看護学校を卒業した人達が集まっています。同じ学院卒業の人に出逢うとなつかしきで一杯です。多くの卒業生を出しているのも、もっと横とのつながりを大切に強めていくためにも、今後増々同窓会の発展を願います。

# いま、学校で

八重桜

四月に十三期生を迎え、五月には、若いエネルギーがはちきれんばかりにぶつかり合う。

体育祭、計画から、評価まで、全て自分達力で実行するのは変らない、第一回より続いているのは、応援合戦、各チーム毎に創意工夫をこらし汗を流し演ずる姿は、いつみてもすがすがしいものである。

六月には、水泳大会、七月には、教育幕営今年のは、富士五湖の一つ本栖湖にて、一二〇名での野外生活を過した。煙と灰の中、真黒になりながら、火がついたノと喜びの声、笑い声が、うずまく、飯合炊飯、汗を流し登頂をめざしたパノラマ台、星をながめ、肩を組み歌った、キャンプファイヤ

ー、等々、楽しいつどい  
いが行なわれた。そして夏休み、今年も又、父母の顔を浮べつつ、大きな荷物をかついで家路へいそぐ学生達、あなたも思い出しませんか?……学校は一時静寂を迎える。



# 校名変更について

事務係長

太田孝二

本校の同窓会も第十期生が加わり、その数は五百名を数える程になり、ますます発展の一途をたどっているとのこと、大変嬉しく思っております。

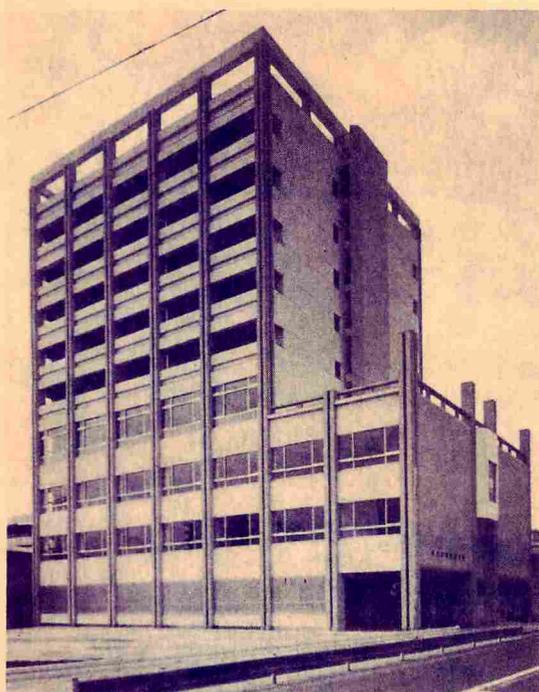
この度、編集部より本校の校名変更のいきさつについて出筆するよう依頼を受けましたので、この誌面をお借りして述べてみたいと思います。ご存じのとおり、本校は昭和四十四年四月厚生大臣より看護婦養成所として指定を受けて教育が開始されましたが、単に「養成所」であるがゆえに、法的には「学校」と呼べず大変小規模なレベルに位置され、学割とか、通学証明書さえ発行できませんでした。

そこで二年後の新校舎完成を機に、教育内容、教育設備ともに充実し、昭和四十八年十一月、東京都より「各種学校」として認可され、先述の証明書等が発行できるようになりました。しかしながら、各種学校は読んで字の如く、栄養、和洋裁、電気、医療などのあらゆる職種が含まれ

ており、たとえ教育内容が高度であっても、社会的には過小評価の域を脱することはありませんでした。

そこで昭和五十年、ようやくこの制度が見直され、教育内容、設備等が学校教育法に示す一定の基準以上であれば「専修学校」とすることができるという、いわゆる「専修学校制度」が生まれたのであります。

専修学校に認可されれば同時に学校の名称を「専門学校」とすること



ができることとなり、その学校を卒業する学生は、短大卒と同程度の能力が社会的に認められるようになりました。本校としてはたとえ専修学校となっても、結局は各種学校のな

り上がりであると考え、しばらくは傍観していましたが、各雑誌の学生募集の広告を見ますと、専修学校と各種学校とが区別して掲載さ

## 各種証明書の発行について

〈佼成看護専門学校事務局より〉

証明書が必要なときは、証明書交付申請書（用紙は事務室に備付）を提出していただくことになっていますが、遠隔地からの申込みの場合は、返信用封筒に切手の貼付、住所、氏名、郵便番号を記入同封し、必要事項を手紙に書いてお申し込みください。なお成績証明書については、提出先へ直送することになっておりますので、返信用封筒には、提出先の所在地、名称などをお書きください。

手数料はつぎの通りです。

卒業証明書 一通につき 二〇〇円

成績証明書 一通につき 五〇〇円

送り先〒166東京都杉並区和田一ノ三ノ一四

佼成看護専門学校事務係

電話03（三八四）六一六一

# 同窓会会計報告

皆様も御存知のとおり、同窓会も10年を経、益々発展しつつあります。これも一重に会員一人一人の御力と事務局一同感謝しております。

今まではどうしてよいか手もつけられず、会費もろくに集められない状態で、何かがあるたびごとに多額を支払って頂くことになり、御迷惑をおかけ致しまして申し訳ございませんでした。

つきましては、心機一転、やっとな願が叶い郵便局に振替口座をつくることができました。

これからの同窓会の発展はあなたの会費納入によって決まります！

会費は同封した『払込通知票』をもってお近くの郵便局に御支払い下さる様、お願い致します。

## 昭和56年度(8月末日現在)中間報告

要 要		金額	摘 要
取 入 の 部	繰越金	214,814	
	同窓会費(総会出席者のみ)	768,000	
	同窓会費(総会欠席者)	80,000	
	米年度分会費	4,000	
	佼成看護専門学校史代金	2,000	
御祝及び寄付金	102,000		
計		1170,814	
支 出 の 部	備費	89,500	
	会場費	656,600	切手、アルバム、写真、他
	雑費	19,500	
	計	765,600	
	差引き残	405,214	

# 役員名簿

会長：(I-1) 浜田みどり 副会長：(II-1) 菱沼義恵  
書記：(I-1) 今西潤子 (I-4) 塚田陽子  
会計：(I-1) 神田恵美子 (I-4) 遠藤裕子

I 科	氏 名	II 科	氏 名
1期生	今西潤子 勝田千代子	1期生	近藤道子 鈴木佳代子
2期生	篠原夏子 荻原実千代	2期生	矢部美智子
3期生	鶴園真理子	3期生	清水多恵子 香水好子
4期生	遠藤裕子 塚田陽子	4期生	柳沼みち子 鈴木加代子
5期生	荒川令子 庭野江津子	5期生	江崎美恵子 川名小夜子
6期生	大倉千恵 山田郁代	6期生	阿部良子
7期生	小島啓子 高倉三千子	7期生	小曾根富美江
8期生	小長谷悦子 坂口隆世	8期生	朝妻晴美 山口悦子
9期生	湯川知世子 五十嵐由美	9期生	井上幸枝 大森ケイ子
10期生	伊藤範子 大倉寿美子	10期生	相田千秋 新井里枝子

※各クラスの役員は、上記の通りです。住所、姓の変更のあった場合は、クラスの役員にご連絡下さい。お願いいたします。

## 編集後記

このたび、同窓会々誌、創刊号「朋友」の編集を無事に終えることができ、皆様への御協力ありがとうございました。何分、初めての経験であり、何かと至らぬと思いますが、お許し下さい。

同窓会は、佼成看護専門学校卒業生一人一人で築き上げてゆくものであり、五五九名のきずなをつなぐためにも、会誌はなくては、ならぬものではないでしょうか？

会報「朋友」が今後、刊を重ねることに、より素晴らしいものになるよう、同窓会々員の皆様、何かいいアイデアなど、ありましたら、声を聞かせて下さい。(伊藤)

〈同窓会事務局〉

〒166 東京都杉並区和田一―三―十四

佼成看護専門学校

同窓会事務局